

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【公表番号】特表2014-512353(P2014-512353A)

【公表日】平成26年5月22日(2014.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2014-027

【出願番号】特願2014-501814(P2014-501814)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/35	(2006.01)
A 6 1 K	39/04	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	31/20	(2006.01)
A 6 1 P	31/14	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/16	(2006.01)
A 6 1 P	31/22	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/00	H
C 0 7 K	14/35	Z N A
A 6 1 K	39/04	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 P	31/20	
A 6 1 P	31/14	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/16	
A 6 1 P	31/22	

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月27日(2015.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号1のアミノ酸配列からなるタンパク質又はそのバリアント／切断型誘導体、並びに任意選択で、適した担体及び／又は賦形剤を含む抗ウイルス組成物。

【請求項2】

タンパク質が、微生物から単離された又は合成的に調製された精製タンパク質である、請求項1に記載の抗ウイルス組成物。

【請求項3】

タンパク質が、マイコバクテリウムスピーシーズから分泌される又は表面付着し、マイコバクテリウムスピーシーズから単離される、請求項1又は2に記載の抗ウイルス組成物。

【請求項4】

使用されるマイコバクテリウムスピーシーズが、マイコバクテリウム・ツベルクローシス

又はM . ボビス B C Gである、請求項 3 に記載の抗ウイルス組成物。

【請求項 5】

タンパク質又はそのバリアントが、ペグ化、アセチル化、リン酸化によって修飾されるさらなるペプチドである、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の抗ウイルス組成物。

【請求項 6】

タンパク質のバリアントが、配列番号 2 のアミノ酸配列を有するペプチドである、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の抗ウイルス組成物。

【請求項 7】

活性治療成分としての請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の抗ウイルス組成物と、薬学的に許容される担体及び / 又は賦形剤とを含む医薬組成物であって、前記活性治療成分が、0 . 0 ~ 9 5 重量 % である、医薬組成物。

【請求項 8】

H I V / A I D S 、 B 型肝炎ウイルス、 C 型肝炎ウイルス、デング熱ウイルス、はしかウイルス、豚インフルエンザウイルス、ポリオウイルス、単純ヘルペスウイルス、又は日本脳炎ウイルスに対して、静脈内 ( i v ) 、筋肉内、経口、皮下、又は局所適用に用いるための、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

ウイルス増殖の阻害、又は g p - 1 2 0 エピトープの遮断に用いるための、請求項 7 に記載の医薬組成物。